

高山こくどう ニュースレター

第3四半期号(10月~12月)



石浦バイパス(宮崎トンネル) 開通式を開催!!

雪が降る前に、間に合いました！
去る12月12日(土)、地域待望の宮崎トンネル(約1.8km)が開通しました。当日は風もなく、気温もさほど下がらない中で式典を行うことができ、招待者及び地元小学生などの方々にご参加いただき、開通式典を盛り上げていただきました。
これにより、国道41号の難所がまた1つ解消され、通勤や通学、観光や救急医療活動等においても安心かつ安全に通行ができることと思います。



開通式典の様子



高山警察署のパトカーとウニモグを先頭にパレード

主催者挨拶
古田岐阜県知事



事業者挨拶
堀田中部地方整備局長



祝辞
金子衆議院議員



祝辞
渡辺参議院議員



祝辞
大野参議院議員



祝辞
今井衆議院議員



祝辞
小原岐阜県議会副議長



祝辞
國島高山市長



宮峠トンネル 15時の一般開放状況

久々野町側



一之宮町側



2日後

利用者の声



宮峠のヘアピンカーブがなくなり、運転が楽になりました。

積雪時にヘアピンカーブでスピンし怖い思いをしたことがありますが、やっと安心して通行することができます。



宮峠の回避により安全走行が可能



宮峠は路面に積雪 宮峠(南)



宮峠トンネルが開通した2日後に初雪が降りました！ 道路利用者の皆様、走り易い道路にはなりましたが、安全な速度での通行をよろしくお願いいたします。

久々野小、宮小の生徒達!来てくれてありがとー!!

今回、参加していただいたのは、両校5年生の皆さんです。

なぜかという、平成27年8月に実施した宮峠トンネル起工式に、当時保育園の年長さんだった皆さんに参加していただいていたからです。あれから5年が経ち大きくなった皆さんに、今回の開通式にも参加をお願いしました。あの時のこと、思い出してくれたかな〜・・・



久々野小



宮小

歩いて中に入れるのがこれが最後ですよ〜



皆さんからのメッセージです♪



起工式の写真パネル



来賓の間に仕切り板を設置



参加者の検温



新型コロナ
感染防止対策

司会の前にアクリル板を設置



受付はフェイスガード着用



前後左右に間隔を開けた配席





道路愛護表彰を実施しました！



国土交通省では、『道路ふれあい月間』における行事の一環として、道路の愛護活動に尽力された団体等に対し、その功績・功労を称え、表彰を行っています。

今年は6団体が受賞され、高山国道事務所では10月7日及び8日に、表彰式を実施しました！様々な道路愛護活動を長年継続していただき、ありがとうございます。

★道路ふれあい月間とは・・・？

国土交通省では、毎年8月を『道路ふれあい月間』とし、道路を利用する国民の方々に、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識していただき、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくため、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を特に推進しています。

※例年は8月に表彰式を実施しておりますが、今年は7月豪雨の影響もあり、10月に表彰式を実施しました。

受賞団体の紹介



奥田洞福寿会

(国土交通大臣表彰)

奥田洞福寿会の皆様には、平成5年から28年もの長い間継続して、国道41号下呂市萩原町奥田洞地内の花壇の維持管理にご尽力いただいております。



けさまる

袈裟丸区

(中部地方整備局長表彰)

袈裟丸区の皆様には、平成17年から国道41号飛騨市古川町袈裟丸地内の歩道の除雪にご尽力いただいております。





吉城建設業協会 神岡支部 (中部地方整備局長表彰)

吉城建設業協会、神岡支部の皆様には、平成17年から国道41号飛騨市神岡町西地内において、植樹帯の整備や場内の清掃にご尽力いただいております。



かみじょうろ

上上呂シニアクラブ「白寿会」 (高山国道事務所長表彰)

上上呂シニアクラブの皆様には、平成6年から27年もの長い間継続して国道41号下呂市萩原町上上呂地内において、花壇造りにご尽力いただいております。



株式会社ガイアート (高山国道事務所長表彰)

株式会社ガイアートの皆様には、平成15年から高山市一之宮町から石浦町地内において、植樹帯の花壇の整備や除草、清掃にご尽力いただいております。



加永建設株式会社 (高山国道事務所長表彰)

加永建設株式会社の皆様には、平成22年から飛騨市神岡町船津地内にあります、船津チェーン脱着場及び周辺における清掃にご尽力いただいております。



本格的な降雪シーズン目前！

除雪出発式を開催！

清見除雪センター

令和2年10月22日(木)10時～

▼安全宣言



▼安全点検



▼テープカット



▼除雪車出発



10月22日に清見除雪センターにおいて、『高山国道管内 除雪出発式』を行いました。今年は新型コロナウイルスの対策として、全員がマスクで参加となりましたが、本母保育園の園児にも参加してもらい、明るい式典となりました！

式典後には除雪車の乗車体験や、模雪を使用した除雪車見学も実施。

普段はなかなか近くで見られない除雪車を前に、園児の皆さんも楽しんでいる様子でした。



▲乗車体験



▲除雪車見学



道路啓開訓練

を実施しました！

11/17 10:00～
高山市丹生川町

訓練想定

飛騨地域で最大震度7の地震を観測し、雪崩が発生。その雪崩により普通車両1台が巻き込まれ、後続車両は雪崩を避けようと衝突事故を起こしてしまった。横転車両には要救助者も…。

さらに後続車両2台が、倒壊した電柱は避けきれたものの、急ブレーキ急ハンドルにより衝突し、火災が発生。被災車両や倒壊した電柱により緊急車両の通行が難しい状況で、一刻も早い人命救助や道路啓開が必要だが、どう対応していくのか…？



訓練スタート！

まずは消防による、火災車両の消火からスタートです。
※模擬火災として発炎筒を使用しています。



鎮火後、安全を確認してから消防及び警察が要救助者を救助します。



道路管理者である、国、県、市が放置車両のタイヤにゴージャッキを設置し、路肩に移動させます。



ゴージャッキを設置することで、人力でも車両を移動させることができます！



中部電力のクレーン車が出動し、倒壊電柱を撤去します。



警察の作業車両『ウニモグ』が出動し、横転車両を引き起こします。

💡ウニモグは、令和2年7月豪雨災害を踏まえ、本年9月から新たに高山警察署に配置されました！



除雪のため、道路管理者が除雪ドーザを出動させます。



除雪作業中、雪崩に巻き込まれた車両を発見。
除雪ドーザで引き出します。



車内に要救助者がいることを確認。鍵のかかったドアを
工具でこじ開け、消防が救助に入ります。



救助後、人力により除雪作業を行い、道路啓開が完了しました！



今年も、消防や警察など、6つの関係機関と合同で訓練を行いました。実際に起こり得る事象に対し、手順や役割を確認しながら迅速に復旧及び救助活動ができました。

災害時は緊急車両の通行ルート確保の為、車を置いて避難する際は、できる限り道路外に移動させてください。やむを得ず道路上に車を放置する際は、以下の行動をお願いします。

- 道路の左側に寄せて駐車する
- エンジンを止めて、エンジンキーを車内に残す
- 窓を閉め、ドアはロックしない

平成26年度の災害対策基本法の改正により、道路管理者は必要がある場合、直接車両排除が可能となりました。ご理解ご協力をよろしくお願いします。



トンネル防災訓練

を実施しました！

12/3 14:00～
宮峠トンネル

今回は、宮峠トンネル開通に先立ち、トンネル内における交通事故に起因する火災事故を想定し、高山市消防本部、高山警察署と合同で訓練を実施しました。



※模擬火災として発炎筒を使用しています。



トンネル内に設置してある非常電話を使用し、警察と消防に通報をします。

💡 ボタンを押すだけで簡単に通報できます！また、受話器をあげるだけで位置情報が伝わります。



消防による消火活動がはじまりました。

また誰でも使用できるように、消火器を100m間隔で設置しています。



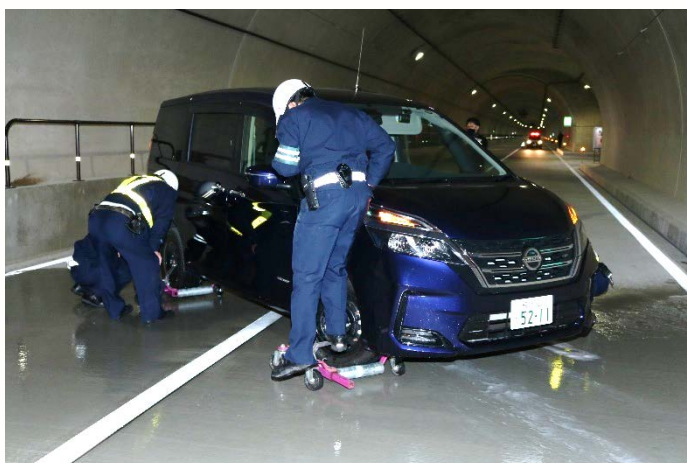
↓

鎮火後、安全を確認して
人命救助を行います。



↓

警察が現場検証を行い、ま
た道路管理者が事故で発生し
たごみなどを拾い、施設の安
全確認をします。



↓

放置車両にゴージャッキ
を設置して非常駐車帯に移
動させます。

トンネル内の安全な通行
が確保され、交通開放とな
ります。

訓練を終えて

トンネル内という閉鎖された空間での救急活動は難航が予想されます。そのため、各防災機関における連携が一層大切になります。

●トンネルの意外な仕組み

火災検知器の反応により、警報表示盤が作動し、大音量の警報音と併せて後続車両の進入を防止する役割があります。

ラジオを聴きながら走行されているドライバーには、ラジオ放送に割り込みをかけて進入防止を呼びかけます。

この時、トンネル内の照明は自動で一番明るいモードになり、救助や避難を支援する仕組みとなっているのです。

新たな時代にPDCA みんなで築こう ゼロ災職場

令和2年度 国土交通省高山国道事務所工事等安全協議会 総会を開催

日時: 令和2年10月14日(水) 14:00~16:00

会場: 高山国道事務所2階会議室+WEB会議

参加人数(Web参加含む)受注者73名 発注者19名 計92名

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB会議システムを活用して開催しました。

総会には高山労働基準監督署 浅井安全衛生課長をお招きし、『事故事例とエイジフレンドリーについて』と題して、労働災害の発生状況や実際の事故事例の紹介、高年齢労働者の作業管理体制についての御講演を頂きました。

また、各出張所と中部縦貫の現場代表者が、現場における事故防止に向けた取組について報告しました。

最後に参加者全員で安全宣言スローガンを読み上げ、労働災害の防止を宣言して閉会しました。



竹島事務所長
による挨拶

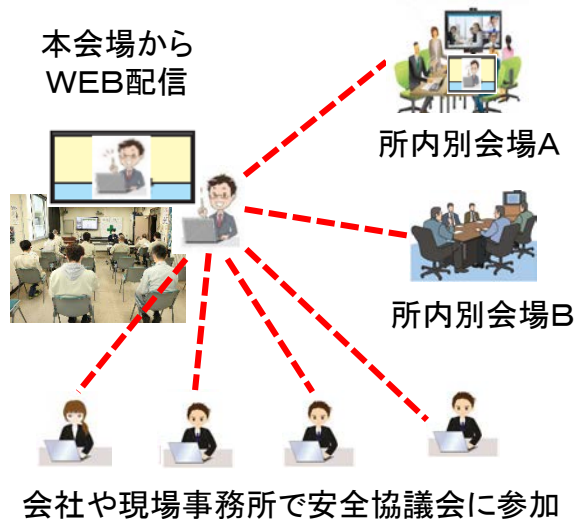


浅井安全衛生課長
による講演



本会場の参加者

WEB会議の仕組み



会社・現場事務所のWEB参加状況



別会場Aの参加者 別会場Bの参加者